

第14回日本口腔ケア学会 総会・学術大会 ランチョンセミナー4

有病者での効率的,効果的な 口腔ケアの最新の方法とは ～舌苔除去における ペプチサル・トゥースペーストの有用性～



座長：那覇市立病院 看護部 呼吸ケア・栄養サポート担当
看護師長 清水 孝宏 先生

演者：市立池田病院 歯科口腔外科 医長
歯科医師 小川 芙美 先生

開催日 : 2017年4月23日(日)
開催時間 : 12:30 ~ 13:30
会場 : 沖縄コンベンションセンター

有病者での効率的、効果的な口腔ケアの最新の方法とは ～舌苔除去におけるペプチサル・トゥースペーストの有用性～

近年、口腔内細菌と誤嚥性肺炎や感染性心内膜炎等の全身疾患との関連が明らかになり、口腔管理の重要性が認知され、病院、療養施設などの様々な施設で口腔ケアが行われている。当院では歯科を有する急性期総合病院の利点を生かして2004年に外来とは独立したセンター部門としての口腔ケアセンターを設置し、歯科医師と歯科衛生士が中心となって、看護部などの多職種と連携をとりながら周術期やADL低下患者、化学療法や放射線治療施行患者に対して口腔ケアの実践と統括管理をしている。特にADLが低下した患者に対しては、歯ブラシ、粘膜清掃、保湿を基本として個々の状態に応じた口腔ケアを歯科職種のみならず、看護師の日常の業務の中でも実施できるよう口腔ケアプランを立案している。しかし、ADLが低下した患者の口腔内は健常者とは異なり、口腔乾燥や乾燥に伴う出血、痂皮の付着等口腔ケアが困難な状態であるのに加えて、マンパワー不足等により口腔ケアにかかる時間が限られていることも多く、効果的かつ効率的な口腔ケアの方法が求められている。

そこで我々は最近開発されたペプチサルシリーズのマウスウォッシュ、マウスジェル、トゥースペーストを使用し、保湿に重点を置くことで効果的な口腔ケアを実践している。ペプチサルシリーズの特徴としては、十分な保湿作用、保湿時間があること、低刺激性であること、性状の異なる製品があるため口腔内の状態に応じて使い分けられることなどが挙げられる。口腔ケア時に個々の状態に応じてマウスウォッシュやマウスジェルを使い分けて保湿を行うことで、口腔ケアによる粘膜への刺激を軽減させるだけでなく、ケアに要する時間も短縮させることで、患者のみならず、口腔ケア施行者の負担軽減にもつながっている。また低刺激性であるため、粘膜炎を有する患者に対しても使用しやすく、通常のケアが困難な患者に対しても効果的なケアを行うことが可能となり、非常に有用であると思われる。最近では舌苔除去にトゥースペーストが効果的であるとの報告もみられ、現在当院でもその有用性を検討している。

今回は当院で行っている口腔ケアの概要とペプチサルシリーズの有用性について文献的考察と症例を交えて紹介する。



小川 芙美
市立池田病院 歯科口腔外科 医長

2003年3月 岡山大学歯学部 卒業

2007年3月 大阪大学大学院歯学研究科 終了 歯学博士

2007年4月 市立池田病院歯科口腔外科

現在に至る

2009年 口腔外科学会認定医